

IoT・AI 関連ビジネスを法務・知財の観点から推し進めるアライアンス戦略

～IoT サービスにおけるデータの利用権限をめぐる取り決めなど
アライアンス戦略を進めていく際に注意すべきポイントを解説～

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

《開催要領》

日時▶ 2019年 9月 11日(水) 14:00～17:00
会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

《開催にあたって》

IoTやAIといった新たな技術分野の成長は、「モノからコトへ」の掛け声に代表されるように、既存のビジネスの枠組みを大きく変えることとなりました。これに伴い企業間の協業に対する考え方も変化が余儀なくされています。これまで手を握ることのなかった異業種間のプレイヤーとの提携や、優れた技術を持つベンチャー企業との連携、協業により生まれた成果物・知財の転用・二次利用を踏まえた更なるプレイヤーとの連携、といった場面が増えるに従い、これらの状況に応じた自社のスタンスやルールを明確に打ち立てる必要があります。IoT サービスにおけるデータの利用権限をめぐる取り決めや、AIサービスを通じて生まれた成果物の取扱といった個別の論点から、ベンチャー企業との合弁契約に対する考え方に至るまで、本セミナーでは、IoT・AI 関連ビジネスにおけるアライアンス法務の望ましい姿をお示しするとともに、契約書の条項記載例も織り交ぜつつ、具体的な事例に即して解説してまいります。

講師 **GVA 法律事務所**
弁護士 恩田 俊明氏

講師紹介
2005年東京都立大学法学部卒業、2008年駿河台大学法科大学院修了、2009年最高裁判所司法研修所入所、2010年松尾千代田法律事務所入所、2012年工藤一郎国際特許事務所入所、2015年、GVA法律事務所入所、現在に至る、主な業務は知的財産権関連法務(特許、意匠、商標、ノウハウ、著作権等)、IT関連法務を担当

講師 **GVA 法律事務所**
弁護士 五反田 美彩氏

講師紹介
2015年HOVA サービス株式会社にて企業内弁護士として勤務。2017年凸版印刷株式会社にて企業内弁護士として勤務。2018年GVA法律事務所入所。主な業務分野はIT、IoT、AI・ビッグデータ、企業法務

《申込方法》 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

《事業コード: 191531-0303》 IoT・AI 関連ビジネスを法務・知財の観点から推し進めるアライアンス戦略

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。(「TOP」→「公開セミナー」→「よくあるご質問」)

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2MFPR 麹町ビル 2F

.....プログラム.....

1. IoT ビジネスの特徴

- (1) IoT・AI ビジネスの現状
- (2) IoT・AI ビジネスの構造的特徴
- (3) IoT・AI ビジネスで注意すべき観点

2. IoT・AI ビジネスと法務～総論～

- (1) データの法律問題
 - 1) 法律上の保護の限界
 - 2) 実務上の留意点
- (2) デバイスの法律問題
- (3) その他の法律問題
- (4) AI 開発契約における実務上の留意点
- (5) クロスボーダーにおける実務上の留意点

3. IoT・AI ビジネスと法務～各論 個人情報との関係～

- (1) IoT・AI と個人情報
- (2) プライバシーポリシーの必要性
- (3) 外国法との関係
 - 1) GDPR の適用
 - 2) カリフォルニア州個人情報の成立

4. IoT・AI ビジネスとアライアンス法務～その3 IoT サービス利用規約～

- (1) IoT・AI ビジネスにおける利用規約の位置付け
- (2) 利用規約に関する諸問題
- (3) IoT 利用規約の逐条解説

5. IoT・AI ビジネスの特徴

- (1) IoT・AI ビジネスで意識すべき知財とは
 - 1) データ・情報・著作物・特許・ノウハウなどの整理
- (2) IoT・AI ビジネスの構造的特徴
 - 1) データ取得とAI活用の連関性
 - 2) AIによる学習過程
 - 3) 推論・判断過程
 - 4) IoT・AI ビジネスのキャッシュポイントとは

6. データの取扱をめぐる考え方

- (1) 生データ提供者からの視点
 - 1) 生データの知財制度上の保護の在り方
 - 2) 実務上のコントロールのコツ
- (2) データ利用者からの視点
 - 1) 「データ利用者」の多義性
 - 2) 学習済モデルの著作物性・特許性・営業秘密保護性
 - 3) AIによる創作物と著作権の取扱

7. IoT・AI ビジネスにおける知財戦略構築の方向性

- (1) 行為主体と権利(責任)主体を意識した権利活用
 - 1) 知財の帰属と利用権限の意識
 - 2) 法務を意識した知財獲得の意識づけ
- (2) IoT・AI 関連知財(特許)の一例紹介
- (3) 著作権法・不競法の改正概要と活用の方向性

※当日は最新情報を盛り込む関係上、講義内容を若干変更する可能性がございます。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。